

四国中央市
ボランティア市民活動アンケート
(市民意識調査) 調査結果

平成30年2月

四国中央市 市民交流課

目 次

1. 調査概要	4
(1) アンケートの実施方法	4
(2) アンケートの有効数	4
(3) 数値やグラフの見方	4
2. 調査結果	5
問1. あなたの性別を教えてください。	5
問2. あなたの年齢を教えてください。	5
問3. あなたはボランティア活動への参加に関心がありますか。	6
問4. あなたはボランティア活動をした経験がありますか。	6
問5. あなたは、ボランティア活動をどのくらいの頻度で行っていますか。	7
問6. あなたがボランティア活動を始めた時期を教えてください。	8
問7. あなたがボランティア活動を始めたきっかけを教えてください。 ..	9
問8. あなたが行っているボランティア活動は次のどの分野に当てはま りますか。	10
問9. あなたがボランティア活動をして良かったと思うことを教えてください。	11
問10. あなたがボランティア活動をするうえで困ったことはありますか。 ..	12
問11. 現在ボランティア活動をしていない理由を教えてください。 ...	13
問12. あなたは、今後、ボランティア活動をしてよいと思いますか。 ..	14
問13. あなたが今後、ボランティア活動を始めるとしたら、どのような理 由が考えられますか。	14
問14. ボランティア活動を始めるとしたら、どのようなきっかけがあれば 参加しようと思いますか。	15
問15. ボランティア活動をするとしたら、どのような形態でしますか。 ..	16
問16. あなたは、どのようなボランティア活動が必要だと考えますか。 ..	17
問17. 今後、ボランティア活動が活発に行われるためには、何が重要だと 考えますか。	18
問18. 問17の条件が整備されたとしたら、あなたはボランティア活動を したいと思いますか。	19
問19. ボランティア活動が社会にもたらすものは何だと思いますか。 .	20
問20. あなたはボランティア活動への報酬についてどのように考えますか。 ..	21
問21. ボランティア活動について、行政に望むことはありますか。 ...	22
問22. 企業の社会貢献活動が注目されていますが、企業の地域への貢献、 さらには企業が社員のボランティア活動を支援する制度について、どう思 いますか。	23
問23. 企業のボランティア活動について、実施している市内の企業（また は店舗）を知っていますか。	24

問 2 4. 企業が行っているボランティア活動について、どのような活動を期待しますか。	25
問 2 5. 災害があなたの身近で起こった時、あなたの被害が少なかった場合に、被災者の救援活動に参加したいと思えますか。	26
問 2 6. あなたは、ボランティア活動を支援する施設として四国中央市ボランティア市民活動センターがあることを知っていますか。	27
問 2 7. あなたは四国中央市ボランティア市民活動センターを利用したことがありますか。	27
問 2 8. センターを利用した目的は何ですか。	28
問 2 9. センター施設の備品・設備の充実度はいかがですか。	29
問 3 0. センター職員の対応は適切で迅速ですか。	29
問 3 1. センターでは、今後、どのような情報の充実が望まれますか。 .	30
問 3 2. 下記のセンターの事業の中で、見た事がある、あるいは利用した事があるものを教えてください。	31
問 3 3. 全体的に見てセンターにどの程度満足されていますか。	32
問 3 4. 最後に、四国中央市のボランティア活動の推進について、あなたのご意見・ご要望・ご提案があれば、ご自由にお書きください。	32

1. 調査概要

(1) アンケートの実施方法

- ① 調査対象者：自治基本条例第2条に基づく16歳～89歳の市民から無作為抽出した2,000人
- ② 配布及び回収：郵送にて配布、回収
- ③ 実施期間：平成29年10月10日～31日

(2) アンケートの有効数

- ① 実送付数：1,994件
- ② 有効回収数：410件
- ③ 有効回収率：20.6%

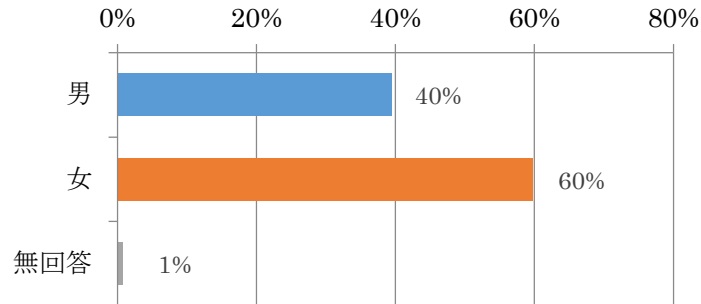
(3) 数値やグラフの見方

- ① 比率は百分率（パーセント）で表し、小数点以下第1位を四捨五入して算出した。そのため質問によっては各割合を合計しても100%にならない場合がある。サンプル数はnとして表記した。
- ② 複数回答が可能な質問においては、比率算出の基数はその項目を選択した回答者数（ n_1 、 n_2 …）とし、その質問の回答者数nに対して、どれだけの割合かを算出した。
- ③ 回答の選択肢などは、省略して表示しているものがある。

2. 調査結果

問1. あなたの性別を教えてください。

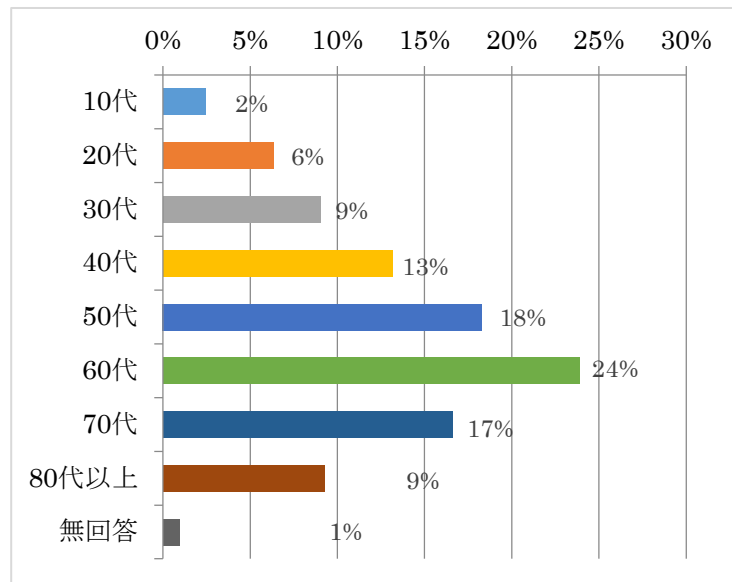
回答数410件のうち、男性の回答が162件で40%、女性の回答が245件で60%、無回答が3件で1%となりました。



問2. あなたの年齢を教えてください。

回答者は60代が最も多く98件で24%、10代が最も少なく10件で2%となり、市の人口分布を反映した結果となりました。

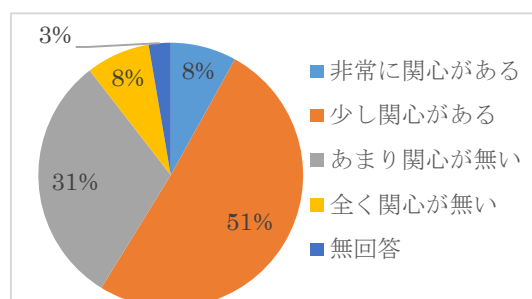
項目	回答数
10代	10
20代	26
30代	37
40代	54
50代	75
60代	98
70代	68
80代以上	38
無回答	4
合計	410



問3. あなたはボランティア活動への参加に関心がありますか。

ボランティア活動への参加について、「非常に関心がある」と「少し関心がある」との回答を合わせると約6割（59%）となり、半数以上の方がボランティア活動に関心がある状況となっています。

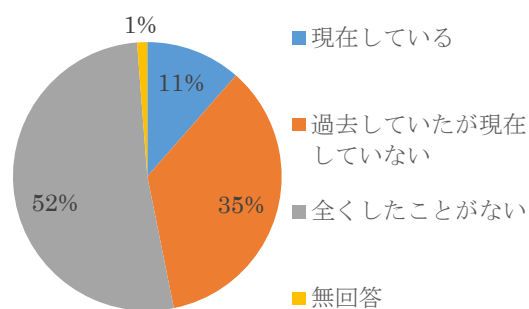
項目	回答数
非常に関心がある	33
少し関心がある	208
あまり関心がない	126
全く関心がない	32
無回答	11
合計	410



問4. あなたはボランティア活動をした経験がありますか。

ボランティア活動の経験について、これまでに経験したことがあると回答した人（「現在、活動している」及び「過去に活動をしたことがあるが、現在はしていない」）の割合は46%となり、そのうち現在も活動している人は11%となっています。

項目	回答数
現在、活動をしている	47
過去に活動をしたことがあるが、現在はしていない	145
全く活動をしたことがない	213
無回答	5
合計	410

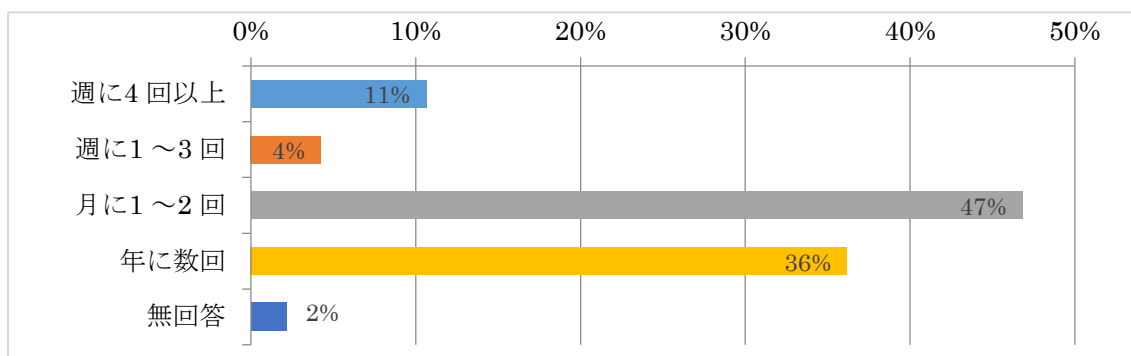


問5. あなたは、ボランティア活動をどのくらいの頻度で行っていますか。

[問4で「現在、活動をしている」と答えた方 (n=47) のみ回答]

活動頻度について、現在、定期的に活動を行っているとの回答の内、62%の人が月に1回以上の活動を行っており、その中でも週に4回以上の活動をしている人が11%となりました。

項目	回答数
週に4回以上	5
週に1～3回	2
月に1～2回	22
年に数回	17
無回答	1
合計	47

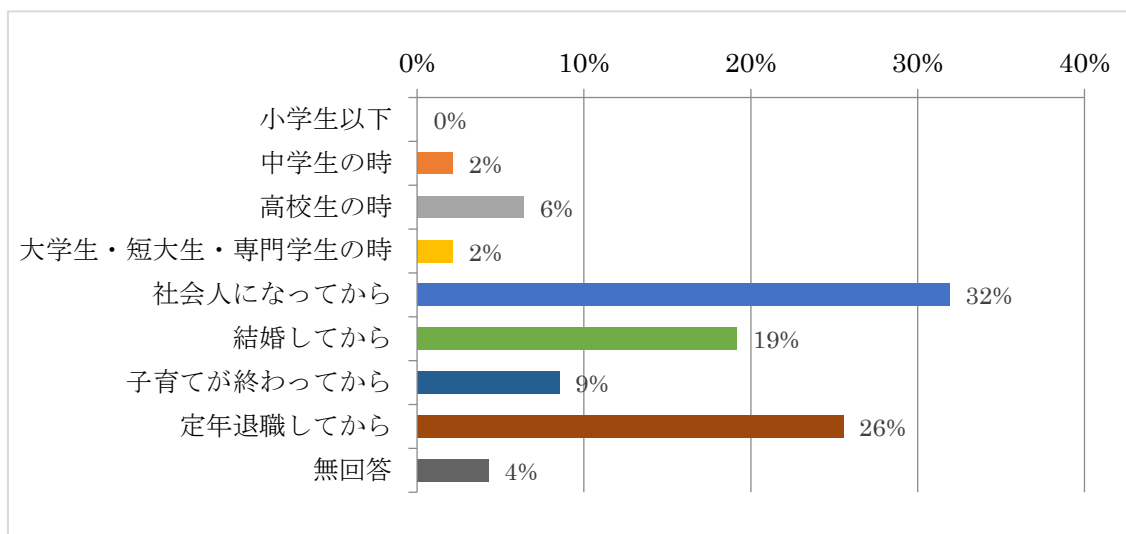


問6. あなたがボランティア活動を始めた時期を教えてください。

[問4で「現在、活動をしている」と答えた方 (n=47) のみ回答]

ボランティアを始めた時期について、社会人になって以降に始めた人の合計が86%にのぼり、その中でも定年退職後に始めた人が26%となっています。

項目	回答数
小学生以下	0
中学生の時	1
高校生の時	3
大学生・短大生・専門学生の時	1
社会人になってから	15
結婚してから	9
子育てが終わってから	4
定年退職してから	12
無回答	2
合計	47

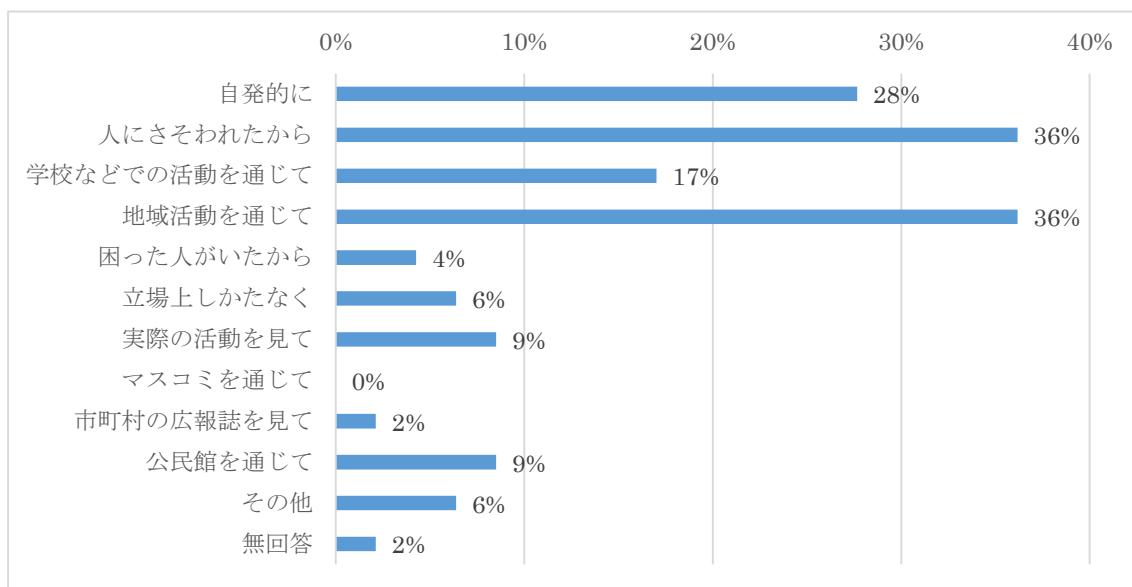


問7. あなたがボランティア活動を始めたきっかけを教えてください（複数回答可）。

〔問4で「現在、活動をしている」と答えた方（n=47）のみ回答〕

ボランティアを始めたきっかけについて、「人にさそわれたから」、「地域活動を通じて」との回答が最も多く36%、次いで「自発的に」との回答が28%となりました。

項目	回答数
自発的に	13
人にさそわれたから	17
学校などでの活動を通じて	8
地域活動を通じて	17
困った人がいたから	2
立場上しかたなく	3
実際の活動を見て	4
マスコミを通じて	0
市町村の広報誌を見て	1
公民館を通じて	4
その他	3
無回答	1



【その他の回答（抜粋）】

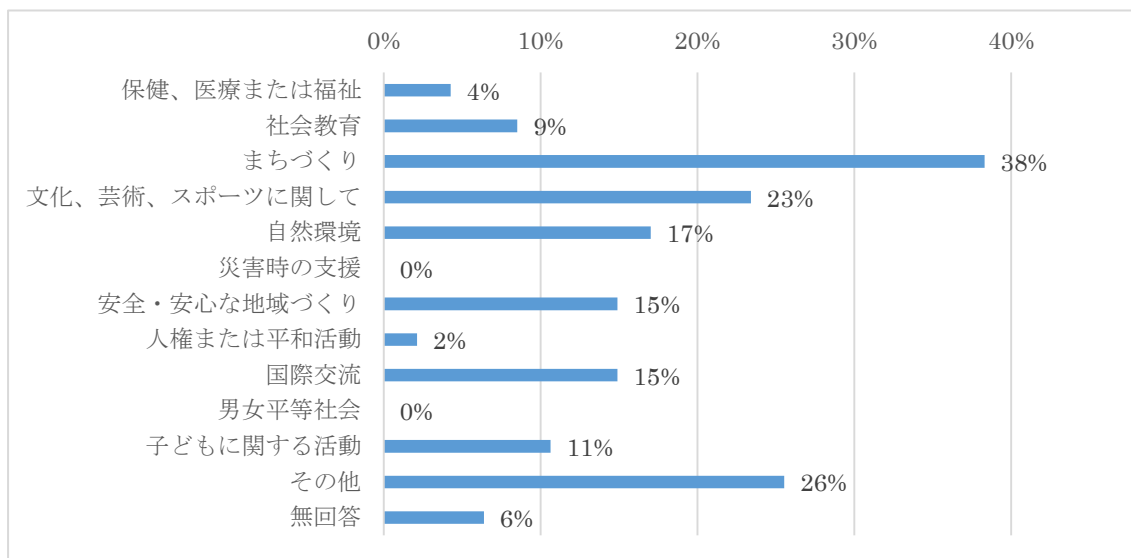
- ・会社での活動を通じて
- ・定年を機会に友人たちと など

問8. あなたが行っているボランティア活動は次のどの分野に当てはまりますか（複数回答可）。

〔問4で「現在、活動をしている」と答えた方（n=47）のみ回答〕

活動分野について、「住みやすいまちづくりをする活動（地域清掃活動など）」との回答が最も多く38%となっています。その他の記述では、「料理」「朗読の勉強会」などの回答がありました。

項目	回答数
保健、医療または福祉に関する活動	2
社会教育（学校以外で行われる教育）に関する活動	4
住みやすいまちづくりをする活動	18
文化、芸術またはスポーツに関する活動	11
自然環境を良い状態にしたり、保ったりする活動	8
災害時の支援活動	0
安全・安心な地域を実現するための活動	7
人権の擁護または平和のための活動	1
国際交流・協力に関する活動	7
男女が平等である社会をつくるための活動	0
子どもが健やかに生まれ育つための活動	5
その他	12
無回答	3



【その他の回答（抜粋）】

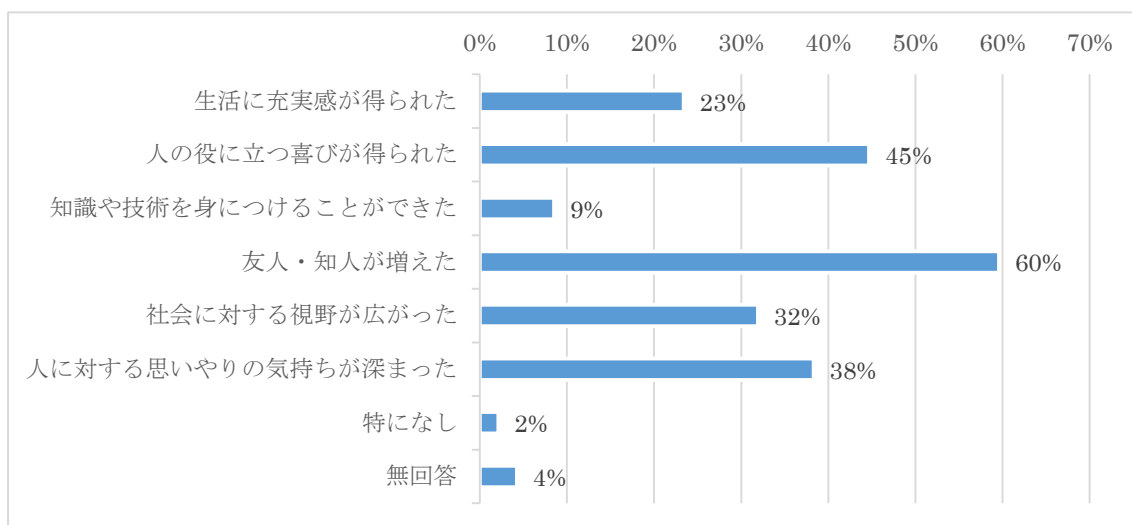
- ・サロン活動
- ・老人ホームの慰問
- ・紙まつりなどへの参加
- など

**問9. あなたがボランティア活動をして良かったと思うことを教えてください
(複数回答可)。**

[問4で「現在、活動をしている」と答えた方 (n=47) のみ回答]

活動を行って良かったと思うことについて、「友人・知人が増えた」との回答が60%、「人の役に立つ喜びが得られた」との回答が45%、「人に対する思いやりの気持ちが深まった」との回答が38%でした。

項目	回答数
生活に充実感が得られた	11
人の役に立つ喜びが得られた	21
知識や技術を身につけることができた	4
友人・知人が増えた	28
社会に対する視野が広がった	15
人に対する思いやりの気持ちが深まった	18
特になし	1
無回答	2

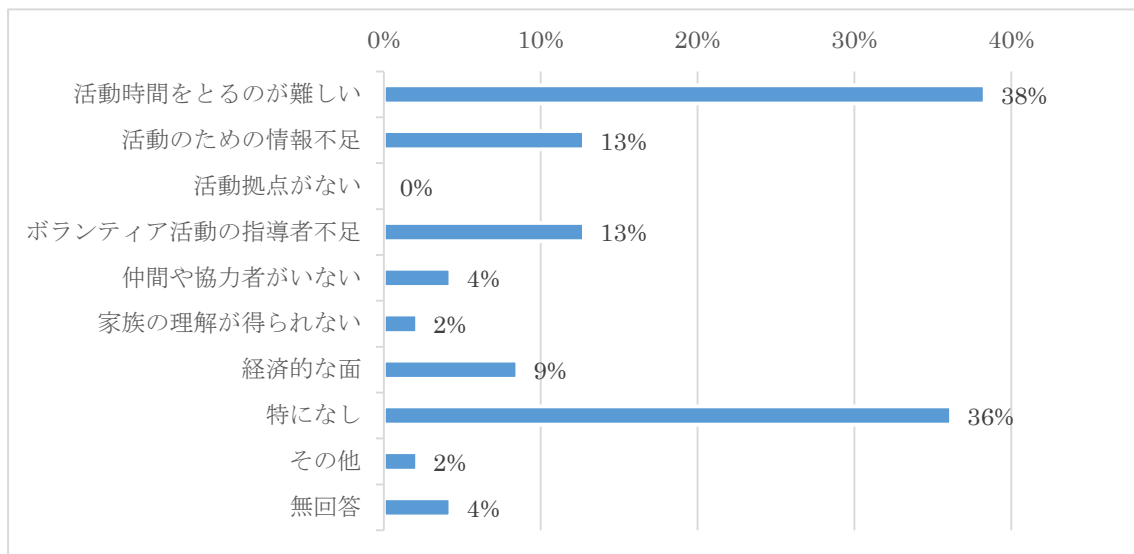


問10. あなたがボランティア活動をする上で困ったことはありますか（複数回答可）。

〔問4で「現在、活動をしている」と答えた方（n=47）のみ回答〕

活動において困ったことについて、「活動時間をとるのが難しい」、「特になし」との回答がそれぞれ約4割となっています。

項目	回答数
活動時間をとるのが難しい	18
活動のための情報不足	6
活動拠点が無い	6
ボランティア活動の指導者不足	2
仲間や協力者がいない	1
家族の理解が得られない	4
経済的な面	4
特になし	17
その他	1
無回答	2

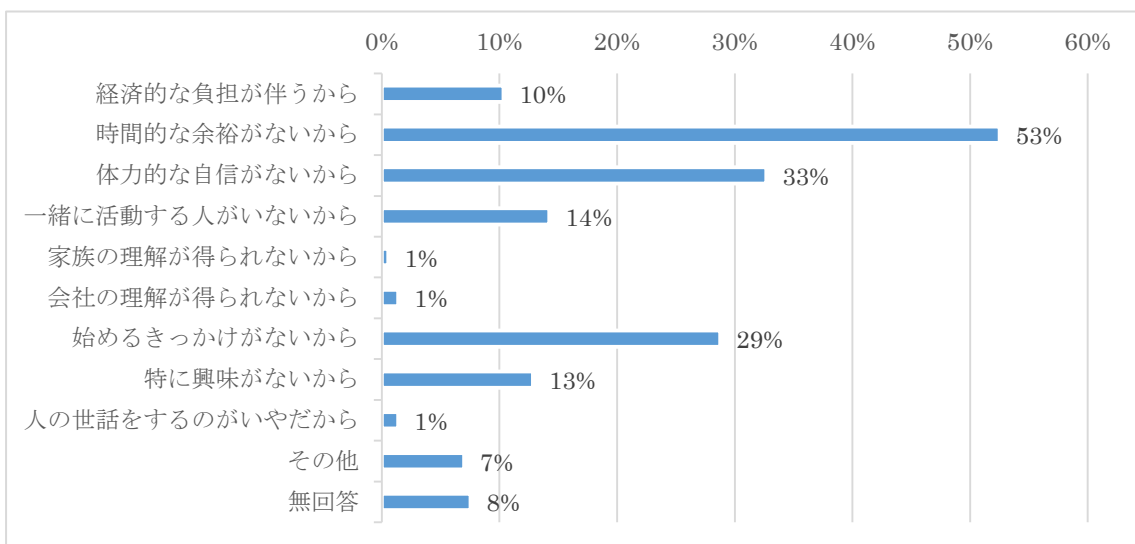


問 1 1. 現在ボランティア活動をしていない理由を教えてください（複数回答可）。

[問 4 で「過去に活動をしたことがあるが、現在はしていない」「全く活動をしたことがない」と答えた方（n=358）のみ回答]

活動していない理由について、「時間的な余裕がないから」との回答が53%と最も多くなり、次いで「体力的な自信がないから」との回答が多くなりました。一方で「始めるきっかけがないから」との回答が約3割となり、きっかけがあればボランティア活動をしたいと考えている人が多い状況となっています。

項目	回答数
経済的な負担が伴うから	37
時間的な余裕がないから	188
体力的な自信がないから	117
一緒に活動する人がいないから	51
家族の理解が得られないから	2
会社の理解が得られないから	5
始めるきっかけがないから	103
特に興味がないから	46
人の世話をするのがいやだから	5
特になし	17
その他	25
無回答	27



【その他の回答（抜粋）】

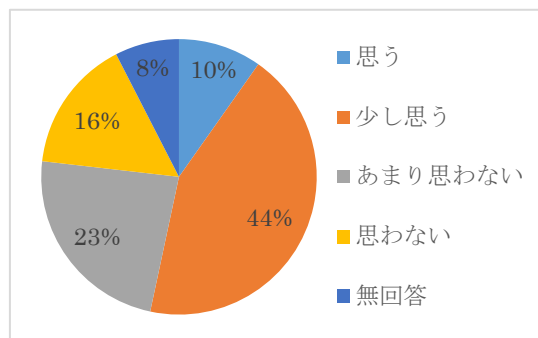
- ・家族の介護をしている
- ・過去に嫌な思いをした
- ・高齢だから
- など

問 1 2. あなたは、今後、ボランティア活動をしてよいと思いますか。

[問 4 で「過去に活動をしたことがあるが、現在はしていない」「全く活動をしたことがない」と答えた方 (n=358) のみ回答]

活動をしてよいと思うかどうかについて、「思う」「少し思う」との回答が合わせて 54% となり、現在活動を行っていない人の内、半数はボランティア活動に興味がある状況となっています。

項目	回答数
思う	37
少し思う	188
あまり思わない	117
思わない	51
無回答	2
合計	358

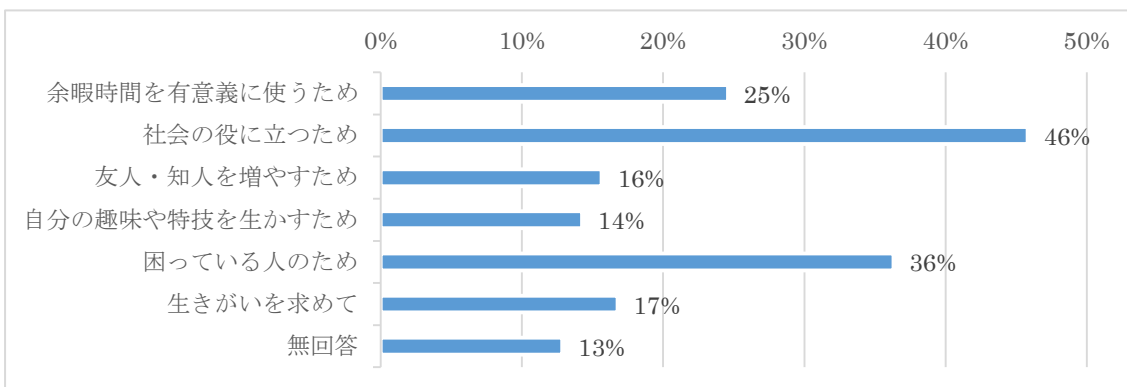


問 1 3. あなたが今後、ボランティア活動を始めるとしたら、どのような理由が考えられますか (複数回答可)。

[問 4 で「過去に活動をしたことがあるが、現在はしていない」「全く活動をしたことがない」と答えた方 (n=358) のみ回答]

ボランティア活動を始めるとする理由について、「社会の役に立つため」との回答が最も多く 46% で、次いで「困っている人のため」が 36% となりました。全ての項目において 1 割を超える回答があり、活動を始めるとする理由は多様な結果となりました。

項目	回答数
余暇時間を有意義に使うため	88
社会の役に立つため	164
友人・知人を増やすため	56
自分の趣味や特技を生かすため	51
困っている人のため	130
生きがいを求めて	60
無回答	46

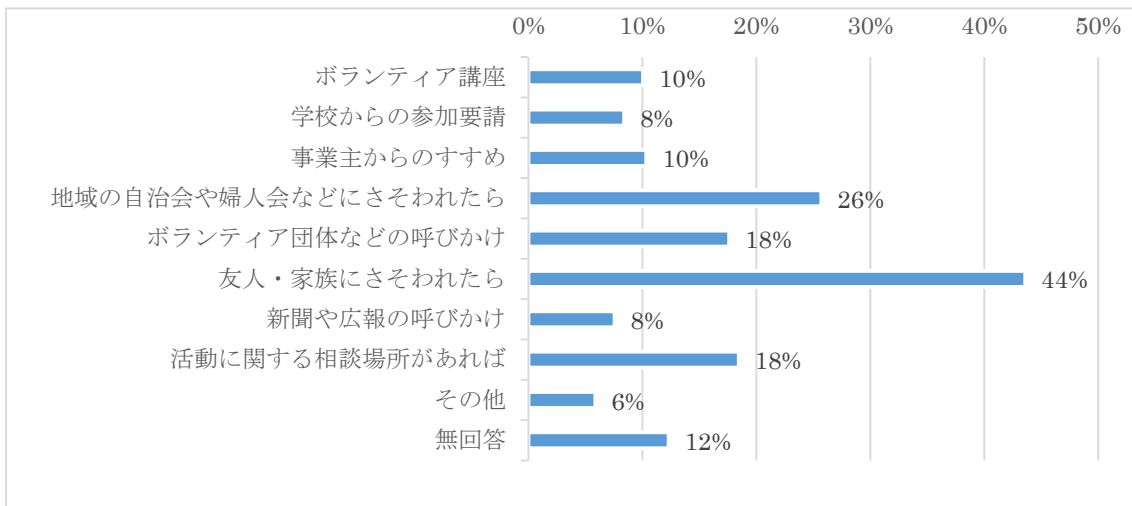


問14. ボランティア活動を始めるとしたら、どのようなきっかけがあれば参加しようと思いますか（複数回答可）。

[問4で「過去に活動をしたことがあるが、現在はしていない」「全く活動をしたことがない」と答えた方（n=358）のみ回答]

ボランティアを始めるとするきっかけについて、「友人・家族にさそわれたら」との回答が44%で最も多く、問7の実際に活動している人のきっかけと同様の結果となりました。

項目	回答数
ボランティア講座に参加することによって	36
学校の課外活動として参加要請があれば	30
事業主からのすすめによって	37
地域の自治会や婦人会などにさそわれたら	92
ボランティア団体や施設などの呼びかけによって	63
友人・家族にさそわれたら	156
新聞や広報の呼びかけによって	27
活動について情報提供、相談できるところがあれば	66
その他	21
無回答	44



【その他の回答（抜粋）】

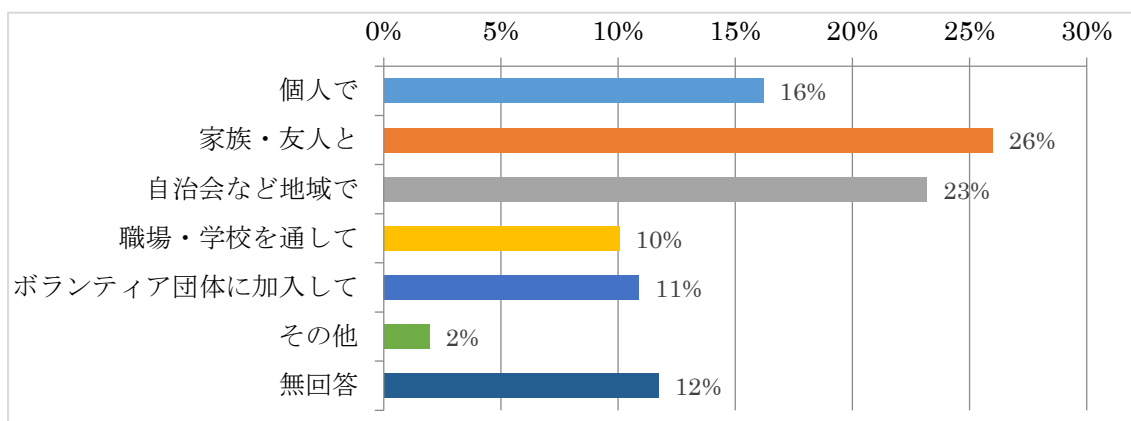
- ・時間に余裕ができれば
- ・災害時
- ・金銭的に余裕ができたなら
- など

問15. ボランティア活動をするとしたら、どのような形態でしますか。

[問4で「過去に活動をしたことがあるが、現在はしていない」「全く活動をしたことがない」と答えた方 (n=358) のみ回答]

ボランティア活動に参加する形態について、突出して回答が多い項目はありませんでしたが、「家族・友人」と「自治会など地域」との回答がそれぞれ2割を超える結果となりました。

項目	回答数
個人で	58
家族・友人と	93
自治会など地域で	83
職場・学校を通して	36
ボランティア団体に加入して	39
その他	7
無回答	42
合計	358



【その他の回答 (抜粋)】

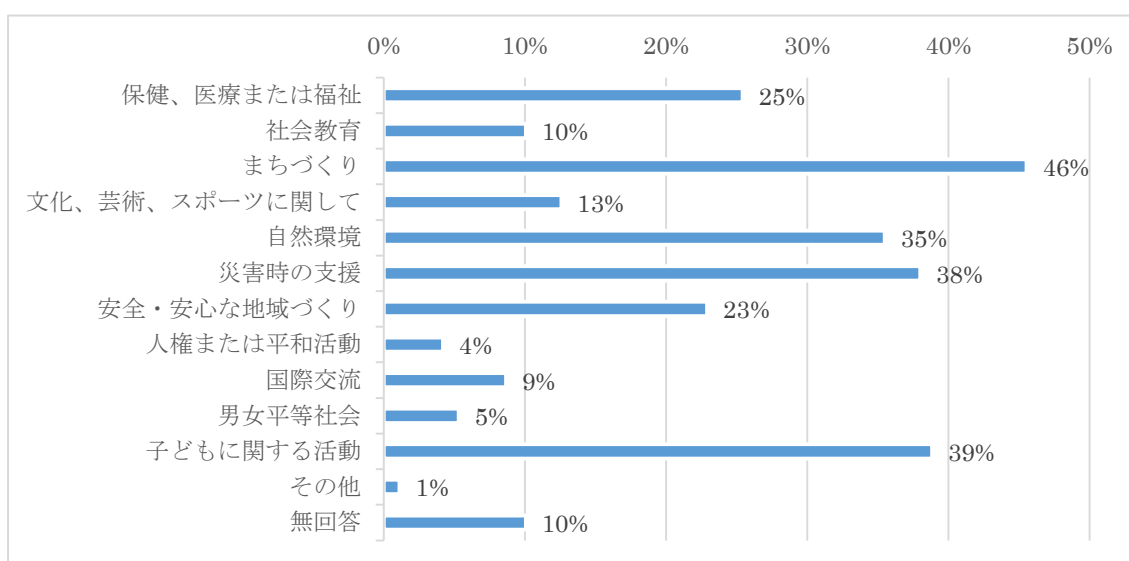
- ・サークルとして
- ・今はわからない
- など

問16. あなたは、どのようなボランティア活動が必要だと考えますか（複数回答可）。

〔問4で「過去に活動をしたことがあるが、現在はしていない」「全く活動をしたことがない」と答えた方（n=358）のみ回答〕

ボランティアの活動内容について、「住みやすいまちづくりをする活動（地域清掃活動など）」との回答が46%となり最も多く、問8の実際に活動している人の回答と同様の結果となりました。一方で、問8の実際に活動している人の回答にはなかった「災害時の支援活動（例 被災地でのボランティア活動など）」との回答が38%となりました。

項目	回答数
保健、医療または福祉に関する活動	91
社会教育（学校以外で行われる教育）に関する活動	36
住みやすいまちづくりをする活動	163
文化、芸術またはスポーツに関する活動	45
自然環境を良い状態にしたり、保ったりする活動	127
災害時の支援活動	136
安全・安心な地域を実現するための活動	82
人権の擁護または平和のための活動	15
国際交流・協力に関する活動	31
男女が平等である社会をつくるための活動	19
子どもが健やかに生まれ育つための活動	139
その他	4
無回答	36



【その他の回答（抜粋）】

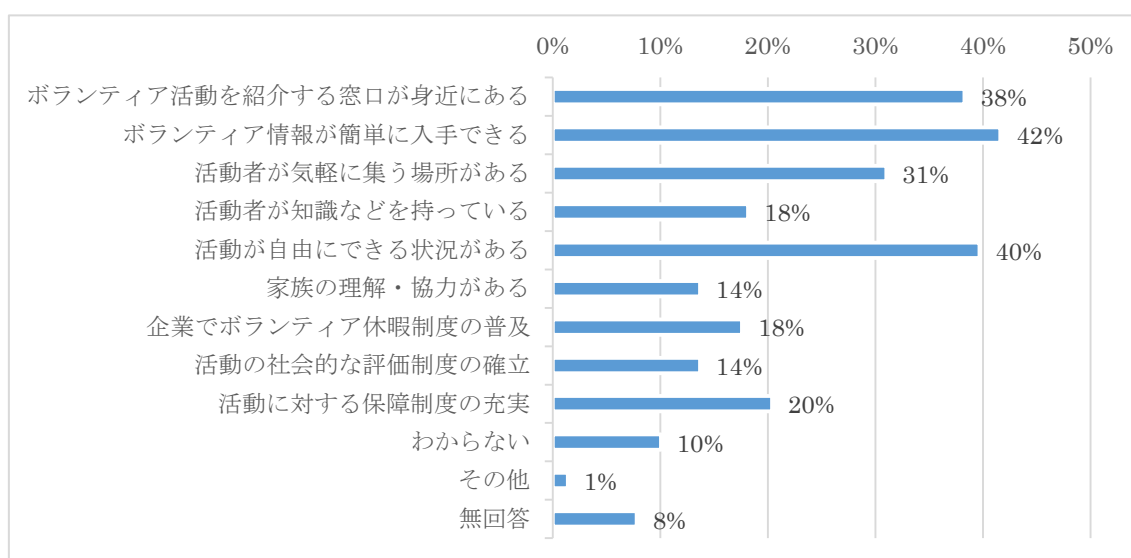
- ・社会的弱者の方のための活動
- ・障がい児・者との交流会
- など

問17. 今後、ボランティア活動が活発に行われるためには、何が必要だと考えますか（複数回答可）。

[問4で「過去に活動をしたことがあるが、現在はしていない」「全く活動をしたことがない」と答えた方（n=358）のみ回答]

ボランティア活動が活発化するために必要なものについて、「ボランティア活動を紹介する情報が簡単に入手できる」との回答が最も多く、「ボランティア活動が自由にできる状況にある」と「ボランティア活動を紹介する窓口が身近にある」との回答が続き、それぞれの回答が約4割となりました。

項目	回答数
ボランティア活動を紹介する窓口が身近にある	137
ボランティア活動を紹介する情報が簡単に入手できる	149
ボランティア活動をする人達が気軽に集う場所がある	111
ボランティア活動をする人が知識・技術・経験を持っている	65
ボランティア活動がいつでも自由にできる状況がある	142
ボランティア活動に対する家族の理解・協力がある	49
企業でのボランティア休暇制度の普及	63
ボランティア活動に対する社会的な評価制度の確立	49
活動に対する保障制度の充実	73
わからない	36
その他	5
無回答	28



【その他の回答（抜粋）】

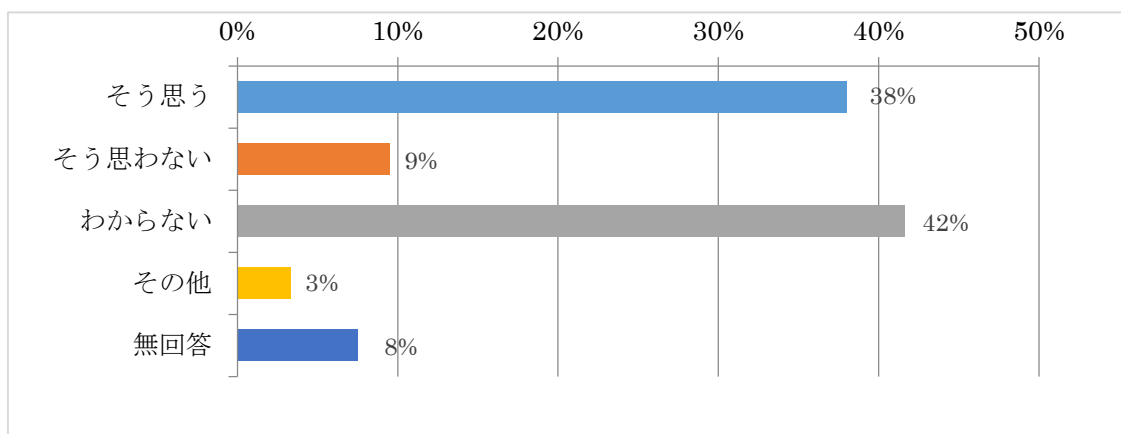
- ・回数に応じた賞状や評価
- ・人材バンクの設立と広報
- など

問18. 問17の条件が整備されたとしたら、あなたはボランティア活動をしたいと思いますか。

[問4で「過去に活動をしたことがあるが、現在はしていない」「全く活動をしたことがない」と答えた方 (n=358) のみ回答]

条件が整った場合、ボランティア活動をしたいかとの問いに、「そう思う」との回答が約4割(38%)となる一方で、「わからない」との回答も約4割(42%)となりました。その他の記述では、「自分にできる事があれば」「自分に合う活動があれば」との回答が多く見られました。

項目	回答数
そう思う	136
そう思わない	34
わからない	149
その他	12
無回答	27
合計	358

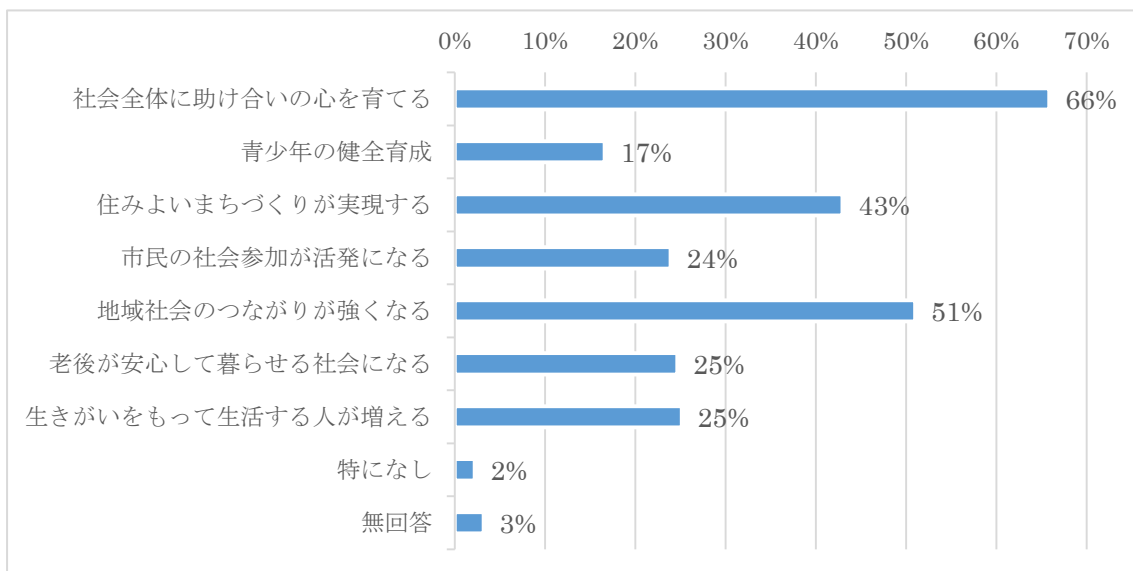


問19. ボランティア活動が社会にもたらすものは何だと思いますか（複数回答可）。

[問19からはすべての方（n=410）が回答]

ボランティア活動が社会にもたらすものについて、「社会全体に助け合いの心を育てる」との回答が66%で最も多く、次に「地域社会のつながりが強くなる」との回答が51%となりました。

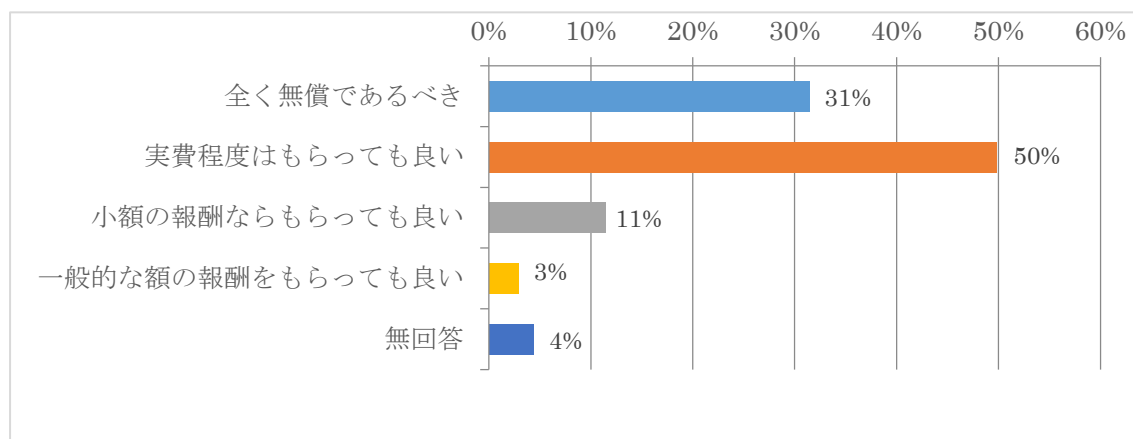
項目	回答数
社会全体に助け合いの心を育てる	270
青少年の健全育成	68
住みよいまちづくりが実現する	176
市民の社会参加が活発になる	98
地域社会のつながりが強くなる	209
老後が安心して暮らせる社会になる	101
生きがいをもって生活する人が増える	103
特になし	9
無回答	13



問20. あなたはボランティア活動への報酬についてどのように考えますか。

ボランティア活動への報酬について、「実費程度はもらっても良い（例 交通費など）」と「少額の報酬ならもらっても良い」との回答を合わせると約6割（61%）となり、半数以上がボランティア活動に対する報酬について認める結果となりました。一方で、「全く無償であるべき」との回答は3割となりました。

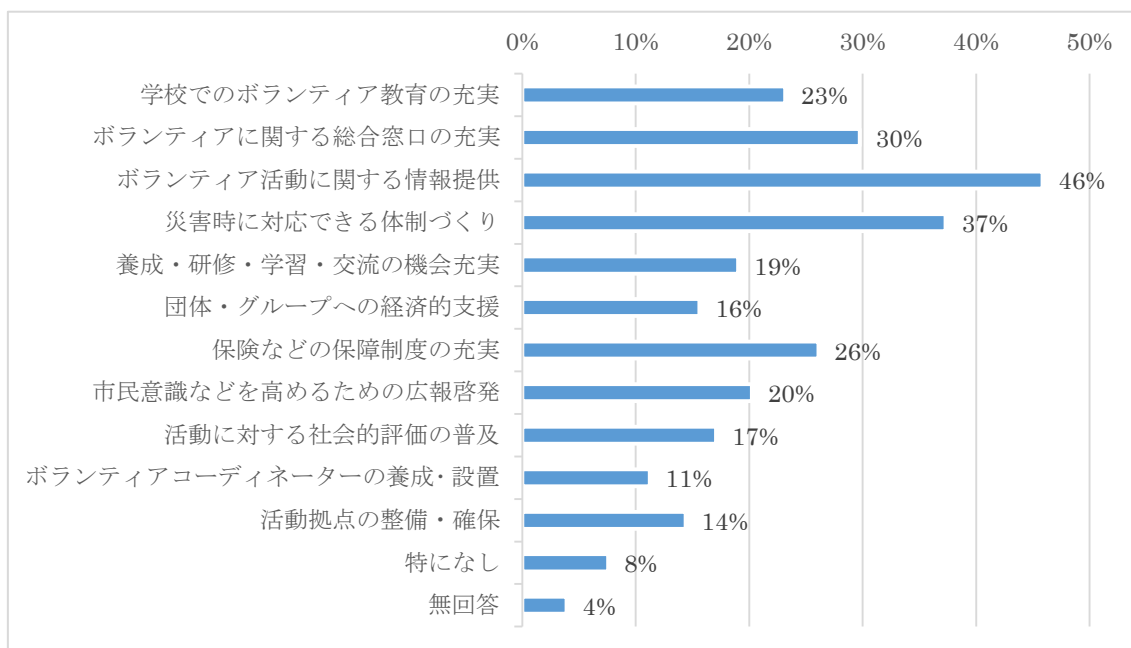
項目	回答数
全く無償であるべき	129
実費程度はもらっても良い（例 交通費など）	204
少額の報酬ならもらっても良い	47
一般的な額の報酬をもらっても良い	12
無回答	18
合計	410



問 2 1. ボランティア活動について、行政に望むことはありますか（複数回答可）。

ボランティア活動に関して行政に望むことについて、回答者の約半数（46%）が「ボランティア活動に関する情報提供」と回答し、約4割（37%）が「災害時に対応できる体制づくり」と回答しています。続いて「ボランティアに関する総合窓口の充実」との回答が3割となりました。

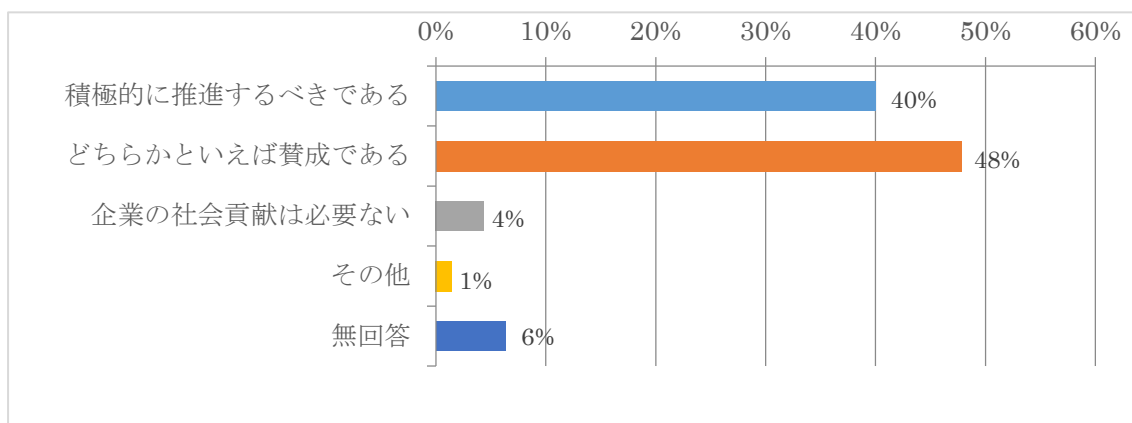
項目	回答数
学校でのボランティア教育の充実	95
ボランティアに関する総合窓口の充実	122
ボランティア活動に関する情報提供	188
災害時に対応できる体制づくり	153
養成・研修・学習・交流の機会充実	78
団体・グループへの経済的支援	64
保険などの保障制度の充実	107
市民意識などを高めるための広報啓発	83
活動に対する社会的評価の普及	70
ボランティアコーディネーターの養成・設置	46
活動拠点の整備・確保	59
特になし	31
無回答	16



問 2 2. 企業の社会貢献活動が注目されていますが、企業の地域への貢献、さらには企業が社員のボランティア活動を支援する制度について、どう思いますか。

「積極的に推進するべきである」、「どちらかといえば賛成である」との回答を合わせると、約 9 割（88%）の回答者が企業による地域への貢献や社員への支援を期待している結果となりました。

項目	回答数
積極的に推進するべきである	164
どちらかといえば賛成である	196
企業の社会貢献は必要ない	18
その他	6
無回答	26
合計	410



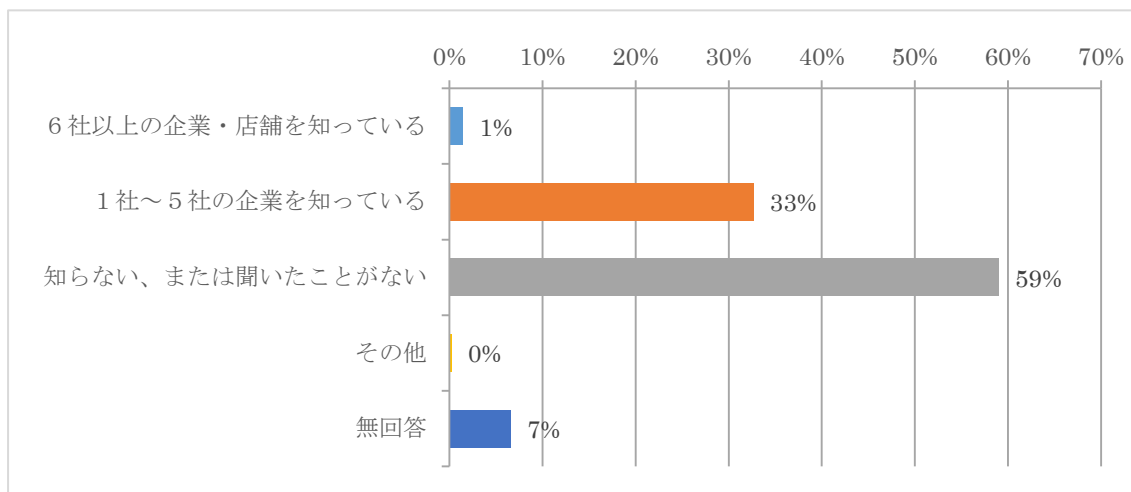
【その他の回答（抜粋）】

- ・賛成だが非現実的
- ・強制にならないようにすべき
- など

問23. 企業のボランティア活動について、実施している市内の企業（または店舗）を知っていますか。

企業のボランティア活動について、「知らない、または聞いたことがない」との回答が約6割を占め、市内において企業が実施している活動の認知度は高くない結果となりました。

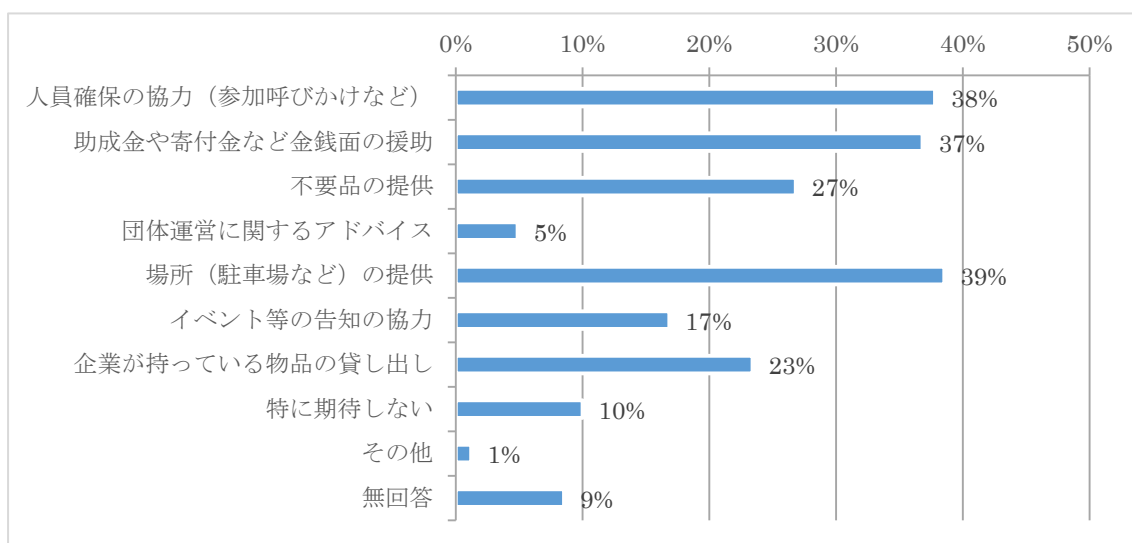
項目	回答数
6社以上の企業・店舗を知っている	6
1社～5社の企業を知っている	134
知らない、または聞いたことがない	242
その他	1
無回答	27
合計	410



問 2 4 . 企業が行っているボランティア活動について、どのような活動を期待しますか（複数回答可）。

企業に期待する活動について、「場所（駐車場など）の提供」との回答が 39% で最多となりましたが、人的援助（38%）や金銭面の援助（37%）がほぼ同じ割合となりました。

項目	回答数
人員確保の協力（参加呼びかけなど）	155
助成金や寄付金など金銭面の援助	151
不要品の提供	110
団体運営に関するアドバイス	20
場所（駐車場など）の提供	158
イベント等の告知の協力	69
企業が持っている物品の貸し出し	96
特に期待しない	41
その他	5
無回答	35



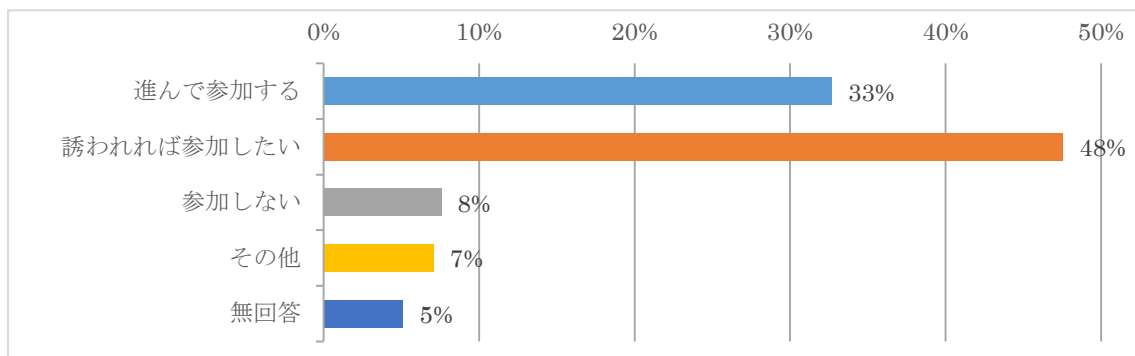
【その他の回答（抜粋）】

- ・能力や技術力、機械の提供
- ・地域のお祭りへの協力
- ・研修としてボランティア活動に参加する など

問25. 災害があなたの身近で起こった時、あなたの被害が少なかった場合に、被災者の救援活動に参加したいと思いますか。

災害時の活動について、「進んで参加する」と「誘われれば参加したい」を合わせると8割を超え（81%）、非常に多くの人々が災害時には自分のできること
で活動したいと考えている状況となっています。

項目	回答数
進んで参加する	134
誘われれば参加したい	195
参加しない	31
その他	29
無回答	21
合計	410



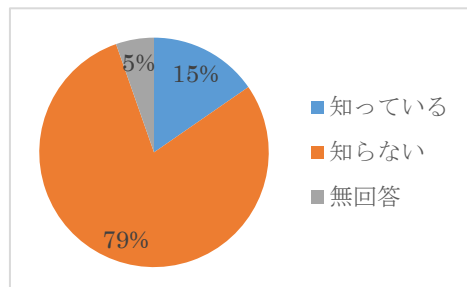
【その他の回答（抜粋）】

- ・ 金銭的負担が大きくなければ参加したい
- ・ 参加したいができない
- ・ 足手まといにならないようならしたい
- ・ 体力的にできない など

問26. あなたは、ボランティア活動を支援する施設として四国中央市ボランティア市民活動センターを知っていますか。

センターについて「知らない」との回答が約8割となり、センターの認知度は低い結果となりました。

項目	回答数
知っている	63
知らない	325
無回答	22
合計	410

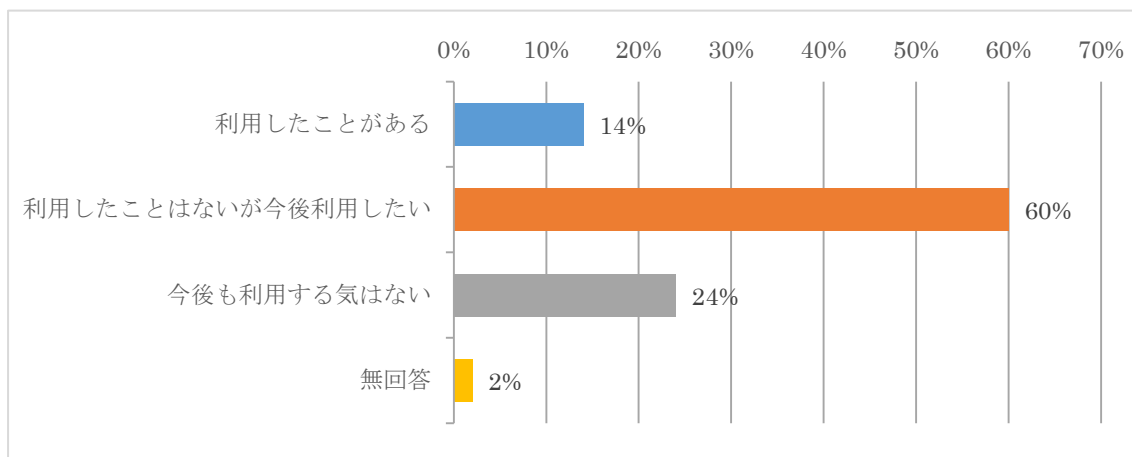


問27. あなたは四国中央市ボランティア市民活動センターを利用したことがありますか。

[問26で「知っている」と答えた方 (n=63) が回答]

センターを知っている人のうち、「利用したことがある」との回答は1割程度にとどまりましたが、「利用したことはないが今後利用したい」との回答は6割にのびりました。

項目	回答数
利用したことがある	9
利用したことはないが今後利用したい	38
今後も利用する気はない	15
無回答	1
合計	63

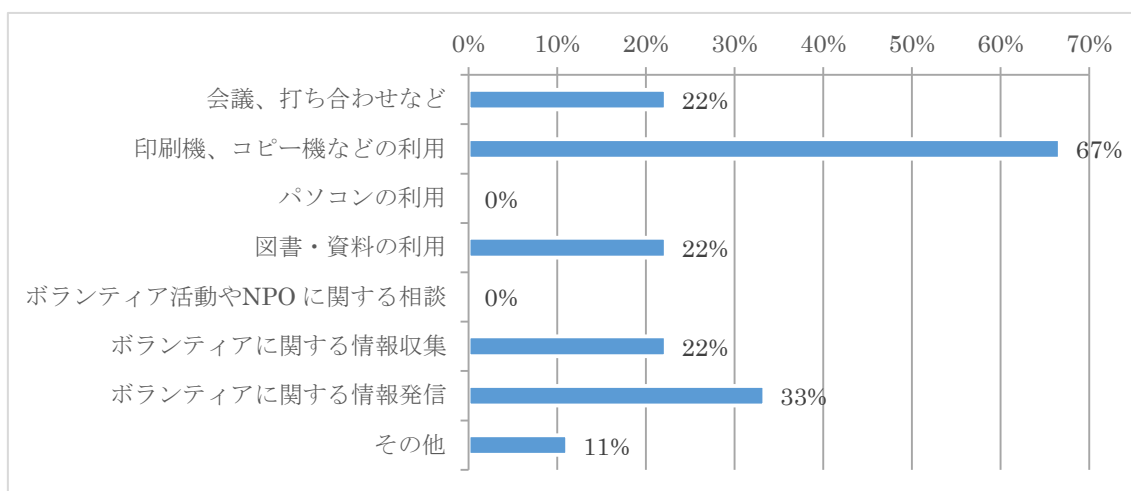


問28. センターを利用した目的は何ですか（複数回答可）。

〔問27で「利用したことがある」と答えた方（n=9）のみ回答〕

センターを利用した目的について、「印刷機、コピー機などの利用」との回答が約7割（67%）となりました。またその他では、会議室の利用に関する回答がありました。

項目	回答数
会議、打ち合わせなど	2
印刷機、コピー機などの利用	6
パソコンの利用	0
図書・資料の利用	0
ボランティア活動やNPOに関する相談	0
ボランティアに関する情報収集	2
ボランティアに関する情報発信	3
その他	1

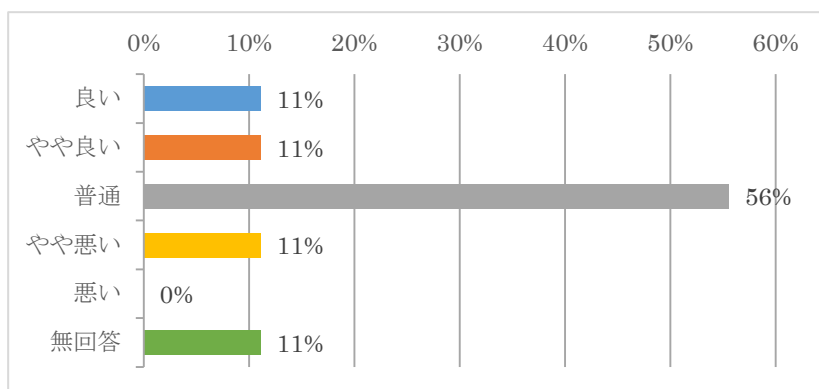


問 29. センター施設の備品・設備の充実度はいかがですか。

[問 27 で「利用したことがある」と答えた方 (n=9) のみ回答]

センター施設の充実度について、「良い」「やや良い」「普通」の回答が約 8 割 (78%) となりました。

項目	回答数
良い	1
やや良い	1
普通	5
やや悪い	1
悪い	0
無回答	1
合計	9

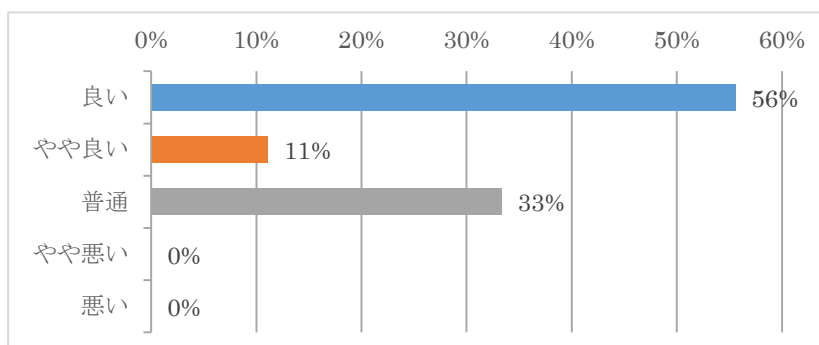


問 30. センター職員の対応は適切で迅速ですか。

[問 27 で「利用したことがある」と答えた方 (n=9) のみ回答]

センター職員の対応について、「良い」との回答が約 6 割 (56%) となり、「やや悪い」「悪い」との回答はありませんでした。

項目	回答数
良い	5
やや良い	1
普通	3
やや悪い	0
悪い	0
合計	9

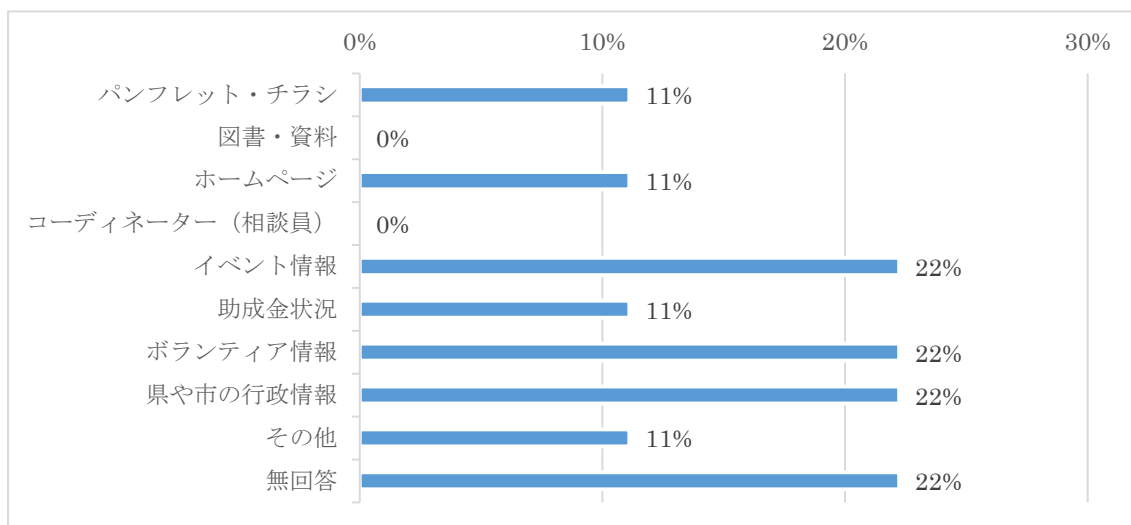


問3 1. センターでは、今後、どのような情報の充実が望めますか。

[問2 7で「利用したことがある」と答えた方 (n=9) のみ回答]

センターに望む情報について、ほぼ全ての項目において1割以上の回答があり、多様な情報が求められている結果となりました。また、その他において「身近な親しみやすいセンターであってほしい」との回答がありました。

項目	回答数
パンフレット・チラシ	1
図書・資料	0
ホームページ	1
コーディネーター（相談員）	0
イベント情報	2
助成金状況	1
ボランティア情報	2
県や市の行政情報	2
その他	1
無回答	2

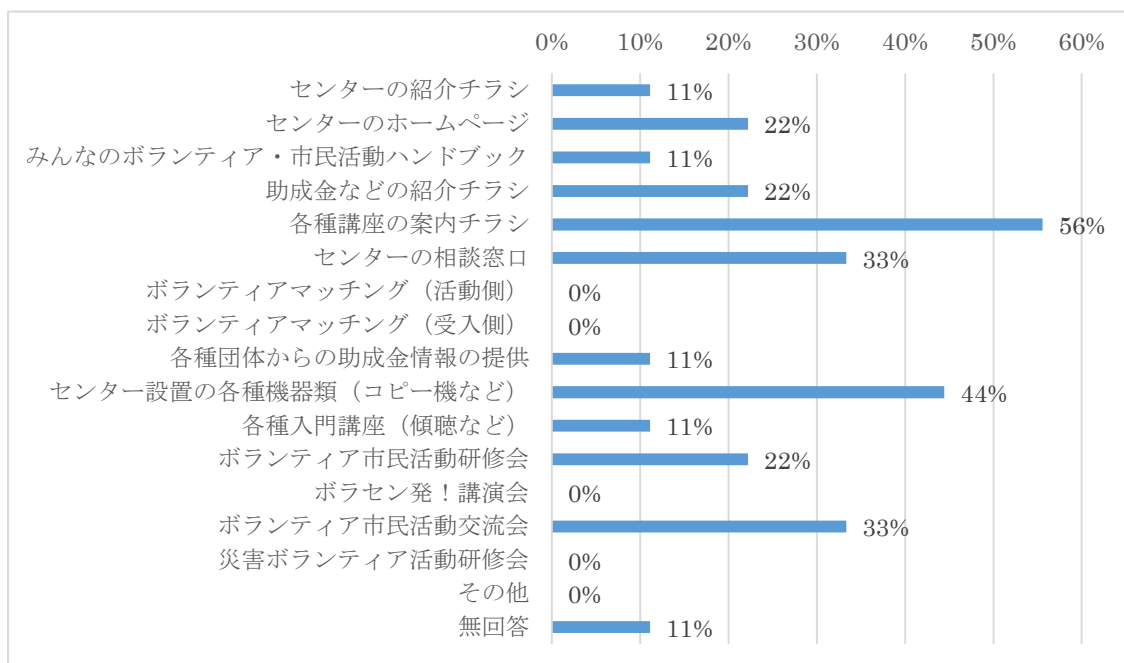


問3 2. 下記のセンターの事業の中で、見た事がある、あるいは利用した事があるものを教えてください（複数回答可）。

〔問2 7で「利用したことがある」と答えた方（n=9）のみ回答〕

「各種講座（研修やセミナーなど）の案内チラシ」が56%と最も多くなりました。次いで「センター設置の各種機器類」が44%となりました。

センターの紹介チラシ	1件 11%	センターのホームページ	2件 22%	みんなのボランティア・市民活動ハンドブック	1件 11%
助成金などの紹介チラシ	2件 22%	各種講座（研修やセミナーなど）の案内チラシ	5件 56%	センターの相談窓口（活動の相談や問い合わせなど）	3件 33%
ボランティアマッチング（活動側）	—	ボランティアマッチング（受入側）	—	各種団体からの助成金情報の提供	1件 11%
センター設置の各種機器類（コピー機、ロッカー、プロジェクター、パソコンなど）	4件 44%	各種入門講座（傾聴、手話、点字、要約筆記、朗読など）	1件 11%	ボランティア市民活動研修会	2件 22%
ボラセン発！講演会	—	ボランティア市民活動交流会	3件 33%	災害ボランティア活動研修会	—
その他	—	無回答	1件 11%		

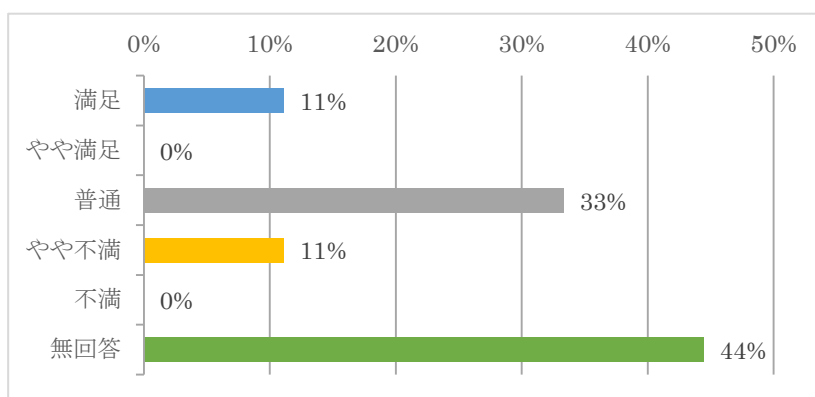


問33. 全体的に見てセンターにどの程度満足されていますか。

〔問27で「利用したことがある」と答えた方（n=9）のみ回答〕

センターの満足度について、「満足」及び「普通」の回答を合わせると約4割（44%）となりました。

項目	回答数
満足	1
やや満足	0
普通	3
やや不満	1
不満	0
無回答	4
合計	9



問34. 最後に、四国中央市のボランティア活動の推進について、あなたの意見・ご要望・ご提案があれば、ご自由にお書きください。

■ボランティア活動に興味を持っている意見

【今後の活動として興味あり】

- 仕事が今とても忙しいが、子どもが独立し、親の介護などがなければ進んでやってみたいと思っている。市民活動センターなど利用してみたい。（50代女性）
- 仕事と子育てで手がいっぱいの状態です。いずれ仕事をリタイヤすることがあれば、地域の子どもの見守り等、自分にできる活動をしたいと考えています。（40代女性）
- 仕事をするのをやめた時に時間が取れるので、ボランティアに参加したいと思います。（50代男性）
- 今は、まだ年齢的に仕事中心の生活なのでボランティアをする時間の余裕は少ないが、そのうち余裕が出来れば増やしていけると思います。どんな種類のボランティアがあるのか知らないなので、簡単に参加できるものからしたいと思います。（40代女性）
- ボランティアを身近なものとして感じていなかったなので、このアンケートをきっかけに興味を持ち、自分から情報収集をしていきたい。（30代女性）
- 地方から仕事の都合等で市内に住んでいる方で子育て中の母親の手助けになるような事が出来ればいいなと思います（近くに子どもを預かってくれる親が居ない時大変です）。（50代女性）
- 移動手段が自転車しかないから身近な所でボランティアに参加したい。（10代女性）
- 体力的に自信が無いけれど、今後私にも参加できるボランティアがあれば市のボランティア活動に興味をもっていきたいと思います。（60代女性）

【したいと思ってもできない】

- 今のところ自分の事は自分で出来ているので他の人達の協力を必要としていない。しかし外部の方々の手助けをしたいと思っても高齢の為体力的な事を考えると却って迷惑を掛けるのではと思い勇気が出ないのが現状である。(80代男性)
- ボランティア活動に参加したいのは山々ですが、なにぶん高齢者なので自分の事で精一杯です。(80代女性)
- 気持ちはあっても体力的、年齢的に無理があります。やはり若い人達に頑張って頂きたいです。(80代女性)
- 体力面であまり自信がない。(70代男性)
- 人の為、社会にボランティア的な事してみたいと言う気持ちは何パーセントかあるが、現状や生活を維持するのがやっとみたいところがあって難しいかな…と思っています。(70代女性)
- 体調悪いが良くなったら活動したいです。(70代女性)
- ボランティアをするにはその間子供を預けないといけません。託児ができれば参加してみたいです(30代男の妻より)。(30代男性)
- ボランティアをしたいという思いはあるが、今は時間的な余裕がありません。(50代男性)
- 体力に自信があれば、時間に余裕があれば協力したいと思うばかりです。(60代女性)

【知らなかった】

- ボランティアの市民活動センターがあることを知らなかったので、いろんな行事や活動がある時に今後は意識して、チラシや広告、または掲示などもみていきたいと思った。自分にもできることがあれば活動したいと思う。(10代男性)
- 市民ボランティア活動センターが市役所横にあることは知りませんでした。どんなことをしているのか目で見てみたいような気になりました。このアンケートも、ボランティア活動を考えさせるきっかけに、少しはなったかなと思いました。(60代女性)

【その他】

- 自分が出来ることがあればお手伝いをするだけです。(70代女性)
- 市民団体には所属していません。個人で教室(講座)無償で教えているのをボランティアと思っています。80名程。(70代女性)
- ボランティア興味あるが普段何が出来るのかよく分からない。相談しに行くほど時間を余している訳ではないので。どのくらい必要とされるかによって自分の中で優先順がボランティア活動に変わるのだと思う。(40代男性)
- プライバシーの問題が気になります(個人のボランティアの場合)。(60代男性)

■活動に好意的な意見及びそうでない意見

(好意的な意見)

- ボランティア活動というのは、とても尊いものだと思います。損得関係なく、ボランティア活動をして下さっている方に感謝です!(40代女性)

- ボランティア活動をしている人を尊敬します。参加しようと思っても、なかなか、自由がなく出来ませんが、ボランティア市民活動よろしくをお願いします。(60代女性)
- 国体でたくさんの方がボランティア活動に関わっておられるのを目の当たりにしました。とても素晴らしいことだと思いますし、これからもボランティアに関わる方が増えていくといいと思います。私も機会を見つけてまた何かできればうれしいです。(60代男性)
- 私は年齢が80才を超えているためボランティア活動をする事は出来ませんが、ボランティアのお世話になる事があり喜んでます。これからもボランティア活動が盛んになり、助け合いの心が社会全体に育てられるようにと願っています。(80代女性)
- 体力と時間の余裕の範囲で今後とも続けて行こうと思う。(70代男性)
- 私はボランティア活動はとても大切だと思います。身体が思うように動かない私はボランティアの温かい手を差し伸べて下さると大変嬉しい。私は元気で車に乗れた頃は月1回程度山林の手入れのボランティアをして色々仲間も出来て楽しい思い出、体験は良かったなあと思います。今は週1、2回、ハラハラしながら買物や温泉に行っています。心では汽車に乗って遠出をしたいなあと思っても出来ず残念。(70代女性)
- 愛媛国体の料理作りに参加しました。大変だったけど選手の方に「おいしかったです。ありがとう。」と言ってもらえてほんとに嬉しい体験をさせてもらったと思います。体力があればボランティア活動に参加させていただきたいと思いますが、気持ちはあるのですが、なかなか体がついて行きません。(60代女性)
- PTAのボランティア程度しか経験はありませんでした。福島で震災を経験しましたが、地域の方々とのコミュニティーにとっても助けられました。(40代女性)

(好意的でない意見)

- 今は何もしたくない気持ちです。何かしてもまわりの方は、好きでしているとしか見てない。(60代女性)

■提案

- スポーツ団体や会社などで参加する。その呼びかけを団体ごとに案内する。(20代男性)
- ボランティアをしようと思っても、日々の生活、仕事等で、精一杯というところがあります。が、広報などに、少しの時間、内容等を明記したプリント等を入れたりすれば、より身近に感じて、してみようという人も出てくるのではないかな、と思ったりします。(40代女性)
- ボランティア活動は、体の元気な年代中心にあるべきと思う。特に災害時に活動出来る若い力が必要と思う。(60代男性)
- 他人に強くすすめられてするものとは思わないので自発的に活動に入ることの出来やすい環境作りと啓発が必要と思われる。(70代男性)
- まずはNPO法人のイベントに、小中学校が手伝うなど、団体から始めて、「イベントが成功して良かったね」で終わらずに、その時に、ボラセンの役割を説明してみる(裏方を知らせるのも双方のため)。(30代男性)
- 市役所に勤めている人の給料やボーナス、退職金を減らして、そのお金をボランティア活動に少しでもまわすとボランティア活動がより良くなると思います。(30代女性)

- 私は学生ですが、先生から生徒へこういうボランティアがあるという話が少ないし、もっと参加を促すべきだと思います。(10代男性)
- あまり知らないので、もっと学校や地域を通して声をかけ、保護者などの耳に入れば、もっと活動に参加する人達が増えると思う。学校での活動だと子供や親も一緒に参加出来るので、一度経験してみるのも良いと思います。(30代女性)
- ボランティアの活動についての告知がどんどんあれば若い層の参加がもっと増えるのではないかなあと思いました。これからも頑張ってください。(30代女性)
- 大きな事をしようとするまで参加するまでの心の準備や戸惑いが生まれるので、少しの時間少しの活動から経験できるボランティア活動があることの周知、また子供と共に参加する形のボランティアの活動などがあれば参加しやすい環境につながると思います。(40代女性)
- 1. ボランティア活動要請のチラシ配布する 2. 作業によっては必ず保険加入制度の導入
(60代男性)
- 高齢の為人様のお世話は出来ませんが仲間同士でおしゃべりなど出来る集える場所があればいいなと思います。週1くらいで?そんな所へボランティアの方が来て頂けたら…。老人の一言。(80代女性)
- 1人暮らしの為急病の時の助けが必要なのでそんな時協力して下さる方があれば助かります。
(80代女性)
- 生活支援を公より受けている健全な方を積極的に勧誘するようにしたらよいと思います。(60代男性)
- 企業のボランティア活動を市から広めるべき。(40代男性)
- 人材バンクなどを構築し、学校、地域活動団体に資料提供し、活動に応じて人材を派遣するシステムを確立するとボランティア活動をする人、受ける人双方に有益となると考えられる。(60代男性)
- 家庭内の主婦が個人でボランティア活動をするにはまだまだ情報等少なく、きっかけも少なくてハードルが高いと思います。もっと気軽に活動できる様な機会、啓発が必要と思います。(70代男性)
- 保険を充実すべき。(10代男性)
- 活動された方達の周知。テレビ又は新聞等で市民に知らされる等の方法があれば良いと思う。
(70代男性)
- 親子で出来るボランティアがあったら良いと思った。あまり情報がないから窓口があったりしたら良いと思う。(40代女性)
- ボランティア市民活動センターがあることを知らない人が多いのではないのでしょうか。全年齢に浸透させ盛んな活動の推進をお願いしたいと思います。(40代女性)
- ボラセンに登録していないが隠れたボランティアがいます。休みの日に戸川公園でおもてなししている四国中央遍路道ボランティア、三角寺〜奥の院の遍路道ボランティアなど。そういう活動も市報などで紹介できないものではないでしょうか?(70代男性)
- もう少しボランティア活動のPRをしたらどうでしょうか。(60代女性)

■要望

- ボランティア活動について、センターがもっといろんな事を発信して欲しいです。(50代女性)
- 「ボランティア市民活動センター」の事は全く知りませんでした。もう少し積極的なPRと、その「ボランティア市民活動センター」の敷居が低い事(ボランティアに参加する・しないに関わらず立ち寄りやすい、またボランティア参加経験者から気軽に話が聞ける等)を望みます。(40代女性)
- 行政が、社会福祉を向上させる上で単に予算がないからという理由だけでボランティアに頼る姿勢があってはならない。(60代男性)
- 人口の多い団塊世代を含め、高齢者が参加しやすいボランティア等の情報提供や参加呼び掛けがあれば良いと思います。(60代男性)
- 市が積極的に推進して欲しい。また、ボランティアをする人も受ける人もお互い喜べる仕組みがあったら良い。(60代男性)
- 高齢者や子どもなどのボランティアをもっと充実させてほしい。(10代女性)
- いろいろな場所に拠点を置いてほしい(土居、三島、川之江など)。(30代男性)
- 以前友人の誘いで、新居浜市の善意通訳ガイドクラブでボランティア活動をしたことがある。その活動で新居浜市をよく知り、友人も多くできた。四国中央市より新居浜市の方が私にとって身近であり、情報もたくさん手に入る。三島は私にとってとても遠い存在で、ほとんど情報が入らない。もっと情報をたくさん提供してほしい。ただし今、母は身体障害者であり要介護度3なので、私がボランティアできるかどうか、私にもわからない。(60代女性)
- 登録ボランティアがある事を知りませんでした。正直な所身近な感覚ではないという感想です。個人の性格もあると思いますが、やはり身近な人が参加している、また話を聞く機会がよくあるなど、環境が整っていないと私個人としては、参加しにくいなと思いました。(40代女性)
- 今何を募集しているかリアルタイムで知りたい。もしそれを実施しているなら、市民に広く周知するべき。自分の得意な事を登録して、それに合った内容のボランティアがあれば、メールなどで知らせるサービス等があれば若い人も気軽に参加できると思う。(20代男性)
- ボランティア活動で地域社会のつながりや助け合いなどボランティア活動は大切である。ボランティア活動の情報が身近にあると良いと思った。人のためにすることにお金はいらなと思う。(80代女性)
- 河川、高架下、山などに沢山ゴミがあるので、常々、ゴミ拾いをしたい衝動にかられます。捨てられている家電、自転車等、片付けてもらいたいです。(50代女性)
- 募金など、どこからどこまでをボランティアと呼ぶのかも難しいのだけれど…。ボラセンがあるのは知っているけれど、行った事が無いので、具体的にどんな例があったのかも、簡単に知りたい。(30代男性)
- 高齢者の方が困っていることが多いのではないのでしょうか。介護サービスもできる範囲が限られていて、他に高齢者の方が受けられるサービス、制度があれば、もっと広く知らせてほしい。また、日常的なボランティア活動の中に入れてほしいと思います。(40代女性)
- こちらと関係ないかもしれませんが、「おさがりバンク」を利用させてもらい、助かりました。幼稚園や、学校でも案内はされているのでしょうか？もっと皆が知って利用できればいいなあと感じました。(30代女性)

- ご近所で助け合いが出来れば良いのだが、困っているなど分かっている個人ではむずかしい。集会所とか、公民館で、パイプ役の人とか場所があると良いと思う。(70代女性)
- 私にはボランティアは身近にあるようには感じられてはいないので、楽しく気軽にできるものになったらいいなと思います。子育てもありなかなか時間もないです。(30代女性)
- 四国中央市の川之江・三島・土居のそれぞれ地域で今までどのような活動がされていたのか？3地域をつなぐ四国中央市は地域別の実情状況を知らせてほしい。(60代女性)
- スムーズにボランティア活動に参加出来る様一般の人にアピールしてほしい。(60代男性)
- そういったセンターがある事、活動の推進をしている事等知りませんでした。もっと、市民にいきわたるように、知らせてもらいたいです。(50代女性)
- ボランティア参加の活動の種類が、何かあるのか、いつあるのか、知る事が難しい為、わかりやすい、地域の活動への参加のみとなりますが、地域活動は、ボランティアと思わず参加していました。イベントと一年間で一覧表とかを作り、予定が立てやすく、わかりやすく、広く、募集してくれると、友達等誘いやすく、活動できるかな？と思います。(20代女性)
- 以前近くの公民館(集会所)を借りて隣組の会合をしようとしたときのことだが、借り方が分からなかった。市役所に電話して尋ねたがプライバシーの関係もあって教えられないと言われた(集会所があるのに借り方が分からない…)。ボランティアでもどこかに集まれる場所は必要だし大事だと思う。ボランティアでもその他の交流会などでも集まっていれば次の段階へ行きやすい。市内の集会所の情報を分かり易くしてほしい。ホームページにあげてほしい。(60代女性)
- どういったボランティアの活動があるのか知りたい。(30代女性)
- どんなボランティアがあるか分からない。もっとみんなが参加したいと思う分かるように知らせる様にして欲しい。みんなへの呼びかけが少ない。ボランティアセンターがある事すら知らなかった。(50代女性)
- 日曜日でも開館して欲しい。(60代女性)
- ボランティアセンターを教えて欲しい。(60代男性)
- グループ名、活動内容、所在地、代表名等の一覧が見て分かるようにして欲しい。(70代女性)
- これからますます高齢化が進んでくるが、働いたり動いたりまだまだ役に立てる方は大勢いらっしゃるの、充実した生活が送れるように積極的にボランティア活動が出来るようになってほしい。そのためには受け皿がもっと充実して欲しい。年配の方が生き生きとして生活しているところを若者も見ても感じてもらって、みんなが助け合って支えあい暮らしていけたらいいと思う。(50代女性)
- 市報に今月のボランティア内容等を掲載して下さい。そうでなかったらボランティアについての情報が全然入って来ない為。(50代男性)
- 高齢者の足(病院や買物など日常生活に困っていることがある。免許返納後)の充実がまだまだ不足しているのかと思います。高齢者で外から見ても困っているようですが、本人の知識不足からなのかサービスを受けたくないと思っている人達へのサービスへの知識提供不足(目も耳も老化して)。(50代女性)
- 市民のボランティア活動は人間でいうとビタミン剤が血液循環のようなもの。ボラセンの規模や予算を減らさないよう要望します。(70代男性)

- 障害のある人達の支援をもっと良くしてほしいです。子供たちもです。(30代女性)
- 何十年も何冊も読んで思ったのですが市報が読みにくく分かりにくいです。せっかく四国中央市内の情報がたくさんつまっているのに探す情報を見つけるのに大変なときがあります。ボランティアについても書いてあるけどイマイチ伝わってこないです。(40代女性)
- 無理矢理参加させるボランティアはやめてください。自分からしたいと思える環境作りをして欲しいです。(30代女性)

■その他

- ボランティアセンターがあることは知っていたが詳しくは知らなかった。このアンケートで理解できた。(70代男性)
- 幼き頃より教育、意識付けが必要。困っている人に自然に手助けができる。それが当たり前の世の中、社会になって欲しい。(50代女性)
- ボランティアに関する意識づけから始めないといけないな、と私自身の事として思いました。(50代女性)
- 小さな単位の組織の中で自分ができる奉仕をするとその心根を大切に、地域を育むような人の集まりにしたいですね。(80代女性)
- 天引き天引きの年金生活で精一杯です。ボランティア等他人の事を考える余裕がありません。(年代不明男性)
- 全く存在を知らなかった。(50代男性)
- ボランティアについて、あまりにも無知でした。このようなセンターがあることもこのアンケートで初めて知りました。(40代女性)
- ボランティア活動センターが、あるという事を知らない人がいると思うから、もっと情報を出すべきだと思います。(60代女性)
- 介護認定がきびしくなっている気がする。金銭的な事があり介護サービスを受けられない、独居の方や老老介護の方が増えてきている、など気になります。介護保険だけでなく、ボランティアが気軽に利用出来る社会になれば良いと思います。(60代女性)
- ボランティア参加の為、体力面が不十分、健康であっても生活に追われ時間が無かったりするので、社会全体で取り組む事が大切になると思います。(50代女性)
- “ボランティア”の意味を吐き違えているのでは？と言いたくなる様な問いが…。 “ボランティア”をする上で“報酬”という問いが出るという事(問い)があるのはそれを期待する人がいるからなのか。ボランティアとは「公共福祉などの為に自主的に“無報酬”で奉仕活動をする人」←報酬が欲しいのなら、そういうお助けの企業で割り切ってボランティア活動をすれば良いのでは??ボランティアに参加する気があるのなら、“善意”の気持ちで活動できる人、何かを期待しての行動なら、色々な事が(不平不満)が発生すると思います!! 東日本のあの時のボランティアの人達は、「飲み物・食事」(→市・県が提供しても、まあ、多数の人達は理解できる、してくれるのでは…?)は自分達で用意してのボランティア活動だったと聞きました。これが本当の姿では!!(50代女性)
- 豊岡在住なので、なかなかセンターまで行く機会がないのでよくわからない。豊岡公民館の職員さんにたずねる事はよくある。(60代女性)

- ブラック企業の多いこの地域で十分な時間、金がある人は少ない。まず企業の意識改革が必要。
(60代男性)
- 特になし。必要かは分からない。ボランティアはやはり無償では難しいのでは。会社の休みが取れないのでは？ (50代男性)
- 今の所何も思いつかないので具体的に必要なものが分からない。 (50代女性)
- 若い人々が年配の方々にたいして敬う事も教育しないとイケない。 (40代男性)
- 十分に理解していないので現状では特にはありません。 (50代男性)
- 気がつけば朗読のボランティアを細々と20数年続けてこられました。小学校の絵本の読み聞かせも10数年経ちました。沢山の人との出会いもあり、時間が取れるのなら沢山の人が参加出来たら素晴らしいと思います。間を取り持って下さる行政に感謝します。 (60代女性)
- 仕事もありますし、子どもも育てていますしなかなか時間がないです。せっかく休みの日でも買物や友達の付き合いとか忙しいです。 (30代女性)
- どの様な組織でどんな活動をしているのか知りません。特定の一部の人達がするものと認識しておりました。 (60代男性)
- ボランティアは強制すべきではないです。 (50代女性)
- ボランティア活動が必要とされる場面は多いと思うが、様々なボランティア活動に対して関心が少ない人も少なくないと感じる。無償の活動ではあるが、自分が社会の一員であることや、ボランティアによる成果がいずれ自分や自分の身近な物事に還元されるという実感が希薄な人々が多いのではないかと思う。また関心はあっても、働いている人には余暇がなかったり、わずかな余暇を他の活動に充てるだけの体力的、精神的余裕がないのも課題だと感じる。 (20代女性)
- 市内の活動を知らないので答えようが無い。 (60代女性)
- ご苦労さんです。 (70代男性)
- 16年多喜浜地区の水害ボランティアに参加(2日)したことがあるが、そのとき消防の方が直ぐにリーダーとなりテキパキと班員(15名程度)を上手く使って床上床下の泥掻き30分行ったら15分間休むという指示が誠によく出来ていた。 (70代男性)
- 自分の事が出来てないのに人の事まで出来ない。母子ばかり無料の安価なサービスばかり…夫婦で頑張っても頑張っても負担が多くボランティアどころではない。モチベーションが下がる。
(30代女性)
- 私は80才を過ぎ、妻も5年前から寝たきりになり一人で介護しています。もうボランティアをする元気もありません。 (80代男性)
- ボランティアの原義は「無償」であるが間20のような感覚になっているのはどうしてでしょうか。 (60代男性)
- 必要とされる場所に手が届くようなボランティアがいいと思いますがやってあげている的なものはいけないと思います。 (50代女性)
- 自分自身の意識改革が必要。 (50代男性)